

令和6年度 東京都立足立特別支援学校 年間指導計画

学部	高等部 普通科	学年	1年	学習グループ	1G(6人)	教科等名	家庭
年間授業時数	66	使用教室	家庭科室	調理室	調理室	使用教科書	改訂新版くらしに役立つ家庭
曜日・校時 担当教員	金曜日 2時間目 (9:40~10:30)	MT	齊藤 彩音	ST	石井 紗季 池田 尚央	出口 司真子 金井 亮	
	金曜日 3時間目 (10:35~11:25)	MT	齊藤 彩音	ST	石井 紗季 池田 尚央	出口 司真子 金井 亮	
ねらい	(1) 明るく豊かな家庭生活を営む上で必要な能力を高め、実践的な態度を育てる。						
	(2) 家庭生活で使用する道具や器具の正しい使い方がわかり、安全に気を付けながら実習をする。						
	(3) 被服、食物、消費生活に関する実習を通して、実践的な知識と技能を習得する。						
学期	単元名	月	時数	主な学習内容	ねらい	手だて	
1 学期	オリエンテーション 生活に役立つ物を作ろう	4	4	・年間の学習計画 ・調理室と家庭科室の使い方	・家庭科の学習に見通しをもつ。 ・5, 6月の授業に備え、基礎の部分を確認していく。	・ICT機器を活用して、学習の見通しがもてるようにする。 ・視覚教材を使用して調理器具や道具の準備・片付け等のルールを知る。	
	<被服学習> 生活に役立つ物を作ろう	5	2	・ミシンやアイロンの安全な使い方 ・製作に必要な道具の安全な使い方 ・エプロン、三角巾、巾着袋の製作	・家庭科室の使い方のルールを知る。 ・ミシンやアイロン等の基本的な使い方を確認する。 ・生地を選ぶなど作品に個性を引き出す。	・ICT機器を活用して、活動の見通しがもてるようにする。 ・工程を細分化し、1つ1つ確認しながら進める。	
	<被服学習> 生活に役立つ物を作ろう	6	8	・エプロン、三角巾、巾着袋の製作	・製作した物は調理実習で使うことを知り、目的をもって取り組む。 ・製作の楽しさを知る。 ・ミシンやアイロン等の基本的な使い方を確認する。	・完成品の見本を用意し、目的をもって主体的に取り組めるようにする。 ・安全上、注意する観点を伝える。	
	<被服学習> 生活に役立つ物を作ろう	7	5	・エプロン、三角巾、巾着袋の製作	・ミシン縫いを安全かつ丁寧に行い仕上げる達成感を味わう。 ・印どおりに縫う方法を知る。	・手本を示し、機械の操作方法やガイドを覚えられるように繰り返し作業を行う。 ・ガイドなどを用意し、まっすぐに縫える環境を作る。	
2 学期	<食育> 健康な体をつくろう	9	9	・バランスの良い食事	・栄養バランスを考えた食生活を過ごす意識をもてるようにする。	・ICT機器を活用し、栄養バランスについてのイメージがもてるようにする。	
	<調理実習> 手洗いの基本 調理室の使い方 簡単な調理	10	6	・正しい手洗い ・調理室の使い方 ・簡単な調理	・正しい手洗い方法を知る。 ・調理室の使い方や道具の名前を知る。 ・道具の安全な使い方を知る。	・ICT機器を活用し、動画で正しい手洗い方法が分かるようにする。 ・教員が手本を示し、一緒に活動することで定着を図る。	
	<調理実習> 簡単な調理をしよう	11	8	・調理実習	・手順を理解して取り組む。 ・道具を安全に使って調理を進める。	・視覚教材を提示し、調理器具名や材料、手順が分かるようにする。 ・オープントースターやレンジ等の安全な扱いをできるようにする。	
	<調理実習> 朝食を作ろう	12	4	・調理実習	・手順を理解して取り組む。 ・道具を安全に使って調理を進める。	・視覚教材を提示し、調理器具名や材料、手順が分かるようにする。 ・繰り返しの実践の中で、安全にできる力をつけていく。	
3 学期	<家庭生活> かばんやロッカーの整理 衣服の管理	1	8	・自分の衣服の整理、管理 文化祭衣装の整理、収納	・衣服のたたみ方、収納の仕方を知り、家庭生活に生かす。	・手本を示し、体験的に学習できるようにする。	
	<消費者教育>	2	8	・お金の大切さ	・物の選び方、買い方を考えて適切に購入する能力を身に付ける。	・金銭の使い方や管理方法について理解が深まるようにする。 ・ワークシートを工夫し、学習内容をまとめることができるようにする。	
	<家庭生活> 洗濯、衣服の管理	3	4	・洗剤の働き ・洗濯機の使い方 ・アイロンのかけかた	・洗濯の仕方を覚えて、家庭の手伝いに意識がつけられるようにする。 ・衣服のたたみ方を知り、日常生活に生かしていく。	・洗濯機の扱い方や干し方を具体的に体験的に学習できるようにしていく。 ・手本を示し、繰り返し服をたたむことで体験的に学習できるようにしていく。	

令和6年度 東京都立足立特別支援学校 年間指導計画

学部	高等部 普通科	学年	1年	学習グループ	2G (6人)	教科等名	家庭
年間授業時数	66	使用教室	家庭科室	調理室	調理室	使用教科書	改訂新版くらしに役立つ家庭
曜日・校時 担当教員	金曜日	5時間目 (13:15~14:05)	MT	石井 紗季	ST	根来 悠子 川崎 剛	
	金曜日	6時間目 (14:10~15:00)	MT	石井 紗季	ST	川崎 剛 栖原 美和子	
ねらい	(1) 明るく豊かな家庭生活を営む上で必要な能力を高め、実践的な態度を育てる。						
	(2) 家庭生活で使用する道具や器具の正しい使い方がわかり、安全に気を付けながら実習をする。						
	(3) 被服、食物、消費生活に関する実習を通して、実践的な知識と技能を習得する。						
学期	単元名	月	時数	主な学習内容	ねらい	手だて	
1 学期	オリエンテーション 生活に役立つ物を作ろう	4	4	・年間の学習計画 ・調理室と家庭科室の使い方	・家庭科の学習に見通しをもつ。 ・5, 6月の授業に備え、基礎の部分を確認していく。	・ICT機器を活用して、学習の見通しがもてるようにする。 ・視覚教材を使用して調理器具や道具の準備・片付け等のルールを知る。	
	<被服学習> 生活に役立つ物を作ろう	5	2	・ミシンやアイロンの安全な使い方 ・製作に必要な道具の安全な使い方 ・エプロン、三角巾、巾着袋の製作	・家庭科室の使い方のルールを知る。 ・ミシンやアイロン等の基本的な使い方を確認する。 ・生地を選ぶなど作品に個性を引き出す。	・ICT機器を活用して、活動の見通しがもてるようにする。 ・工程を細分化し、1つ1つ確認しながら進める。	
	<被服学習> 生活に役立つ物を作ろう	6	8	・エプロン、三角巾、巾着袋の製作	・製作した物は調理実習で使うことを知り、目的をもって取り組む。 ・製作の楽しさを知る。 ・ミシンやアイロン等の基本的な使い方を確認する。	・完成品の見本を用意し、目的をもって主体的に取り組めるようにする。 ・安全上、注意する観点を伝える。	
	<被服学習> 生活に役立つ物を作ろう	7	5	・エプロン、三角巾、巾着袋の製作	・ミシン縫いを安全かつ丁寧に作り上げる達成感を味わう。 ・印どおりに縫う方法を知る。	・手本を示し、機械の操作方法やガイドを覚えられるように繰り返し作業を行う。 ・ガイドなどを用意し、まっすぐに縫える環境を作る。	
2 学期	<食育> 健康な体をつくろう	9	9	・バランスの良い食事	・栄養バランスを考えた食生活を過ごす意識をもてるようにする。	・ICT機器を活用し、栄養バランスについてのイメージがもてるようにする。	
	<調理実習> 手洗いの基本 調理室の使い方 簡単な調理	10	6	・正しい手洗い ・調理室の使い方 ・簡単な調理	・正しい手洗い方法を知る。 ・調理室の使い方や道具の名前を知る。 ・道具の安全な使い方を知る。	・ICT機器を活用し、動画で正しい手洗い方法が分かるようにする。 ・教員が手本を示し、一緒に活動することで定着を図る。	
	<調理実習> 簡単な調理をしよう	11	8	・調理実習	・手順を理解して取り組む。 ・道具を安全に使って調理を進める。	・視覚教材を提示し、調理器具名や材料、手順が分かるようにする。 ・オーブントースターやレンジ等の安全な扱いをできるようにする。	
	<調理実習> 朝食を作ろう	12	4	・調理実習	・手順を理解して取り組む。 ・道具を安全に使って調理を進める。	・視覚教材を提示し、調理器具名や材料、手順が分かるようにする。 ・繰り返しの実践の中で、安全にできる力をつけていく。	
3 学期	<家庭生活> かばんやロッカーの整理 衣服の管理	1	8	・自分の衣服の整理、管理 文化祭衣装の整理、収納	・衣服のたたみ方、収納の仕方を知り、家庭生活に生かす。	・手本を示し、体験的に学習できるようにする。	
	<消費者教育>	2	8	・お金の大切さ	・物の選び方、買い方を考えて適切に購入する能力を身に付ける。	・金銭の使い方や管理方法について理解が深まるようにする。 ・ワークシートを工夫し、学習内容をまとめることができるようにする。	
	<家庭生活> 洗濯、衣服の管理	3	4	・洗剤の働き ・洗濯機の使い方 ・アイロンのかけかた	・洗濯の仕方を覚えて、家庭の手伝いに意識がむけられるようにする。 ・衣服のたたみ方を知り、日常生活に生かしていく。	・洗濯機の扱い方や干し方を具体的に体験的に学習できるようにしていく。 ・手本を示し、繰り返し服をたたむことで体験的に学習できるようにしていく。	

令和6年度 東京都立足立特別支援学校 年間指導計画

学部	高等部 普通科	学年	1年	学習グループ	3G(8人)	教科等名	家庭
年間授業時数	72	使用教室	家庭科室	調理室	調理室	使用教科書	改訂新版くらしに役立つ家庭
曜日・校時 担当教員	水曜日	3時間目 (10:35~11:25)	MT	石井 紗季	ST	高橋 亜希美	
	水曜日	4時間目 (11:30~12:20)	MT	石井 紗季	ST	高橋 亜希美	
ねらい	(1) 明るく豊かな家庭生活を営む上で必要な能力を高め、実践的な態度を育てる。						
	(2) 家庭生活で使用する道具や器具の正しい使い方がわかり、安全に気を付けながら実習をする。						
	(3) 被服、食物、消費生活に関する実習を通して、実践的な知識と技能を習得する。						
学期	単元名	月	時数	主な学習内容	ねらい	手だて	
1 学期	オリエンテーション 生活に役立つ物を作ろう	4	4	・年間の学習計画 ・調理室と家庭科室の使い方	・家庭科の学習に見通しをもつ。 ・5、6月の授業に備え、基礎の部分を確認していく。	・ICT機器を活用して、学習の見通しがもてるようにする。 ・視覚教材を使用して調理器具や道具の準備・片付け等のルールを知る。	
	<被服学習> 生活に役立つ物を作ろう	5	6	・ミシンやアイロンの安全な使い方 ・製作に必要な道具の安全な使い方 ・エプロン、三角巾、巾着袋の製作	・家庭科室の使い方のルールを知る。 ・ミシンやアイロン等の基本的な使い方を確認する。 ・生地を選ぶなど作品に個性を引き出す。	・ICT機器を活用して、活動の見通しがもてるようにする。 ・工程を細分化し、1つ1つ確認しながら進める。	
	<被服学習> 生活に役立つ物を作ろう	6	8	・エプロン、三角巾、巾着袋の製作	・製作した物は調理実習で使うことを知り、目的をもって取り組む。 ・製作の楽しさを知る。 ・ミシンやアイロン等の基本的な使い方を確認する。	・完成品の見本を用意し、目的をもって主体的に取り組めるようにする。 ・安全上、注意する観点を伝える。	
	<被服学習> 生活に役立つ物を作ろう	7	7	・エプロン、三角巾、巾着袋の製作	・ミシン縫いを安全かつ丁寧に行い仕上げる達成感を味わう。 ・印どおりに縫う方法を知る。	・手本を示し、機械の操作方法やガイドを覚えられるように繰り返し作業を行う。 ・ガイドなどを用意し、まっすぐに縫える環境を作る。	
2 学期	<食育> 健康な体をつくろう	9	9	・バランスの良い食事	・栄養バランスを考えた食生活を過ごす意識をもてるようにする。	・ICT機器を活用し、栄養バランスについてのイメージがもてるようにする。	
	<調理実習> 手洗いの基本 調理室の使い方 簡単な調理	10	10	・正しい手洗い ・調理室の使い方 ・簡単な調理	・正しい手洗い方法を知る。 ・調理室の使い方や道具の名前を知る。 ・道具の安全な使い方を知る。	・ICT機器を活用し、動画で正しい手洗い方法が分かるようにする。 ・教員が手本を示し、一緒に活動することで定着を図る。	
	<調理実習> 簡単な調理をしよう	11	6	・調理実習	・手順を理解して取り組む。 ・道具を安全に使うって調理を進める。	・視覚教材を提示し、調理器具名や材料、手順が分かるようにする。 ・オープントースターやレンジ等の安全な扱いをできるようにする。	
	<調理実習> 朝食を作ろう	12	4	・調理実習	・手順を理解して取り組む。 ・道具を安全に使うって調理を進める。	・視覚教材を提示し、調理器具名や材料、手順が分かるようにする。 ・繰り返しの実践の中で、安全にできる力をつけていく。	
3 学期	<家庭生活> かばんやロッカーの整理 衣服の管理	1	6	・自分の衣服の整理、管理 文化祭衣装の整理、収納	・衣服のたたみ方、収納の仕方を知り、家庭生活に生かす。	・手本を示し、体験的に学習できるようにする。	
	<消費者教育>	2	8	・お金の大切さ	・物の選び方、買い方を考えて適切に購入する能力を身に付ける。	・金銭の使い方や管理方法について理解が深まるようにする。 ・ワークシートを工夫し、学習内容をまとめることができるようにする。	
	<家庭生活> 洗濯、衣服の管理	3	4	・洗剤の働き ・洗濯機の使い方 ・アイロンのかけかた	・洗濯の仕方を覚えて、家庭の手伝いに意識がつけられるようにする。 ・衣服のたたみ方を知り、日常生活に生かしていく。	・洗濯機の扱い方や干し方を具体的に体験的に学習できるようにしていく。 ・手本を示し、繰り返し服をたたむことで体験的に学習できるようにしていく。	

令和6年度 東京都立足立特別支援学校 年間指導計画

学部	高等部 普通科	学年	1年	学習グループ	4G(8人)	教科等名	家庭
年間授業時数	72	使用教室	家庭科室	調理室	調理室	使用教科書	改訂新版くらしに役立つ家庭
曜日・校時 担当教員	水曜日	3時間目 (10:35~11:25)	MT	石井 紗季	ST	高橋 亜希美	
	水曜日	4時間目 (11:30~12:20)	MT	石井 紗季	ST	高橋 亜希美	
ねらい	(1) 明るく豊かな家庭生活を営む上で必要な能力を高め、実践的な態度を育てる。						
	(2) 家庭生活で使用する道具や器具の正しい使い方がわかり、安全に気を付けながら実習をする。						
	(3) 被服、食物、消費生活に関する実習を通して、実践的な知識と技能を習得する。						
学期	単元名	月	時数	主な学習内容	ねらい	手だて	
1 学期	オリエンテーション 生活に役立つ物を作ろう	4	4	・年間の学習計画 ・調理室と家庭科室の使い方	・家庭科の学習に見通しをもつ。 ・5, 6月の授業に備え、基礎の部分を確認していく。	・ICT機器を活用して、学習の見通しがもてるようにする。 ・視覚教材を使用して調理器具や道具の準備・片付け等のルールを知る。	
	<被服学習> 生活に役立つ物を作ろう	5	6	・ミシンやアイロンの安全な使い方 ・製作に必要な道具の安全な使い方 ・エプロン、三角巾、巾着袋の製作	・家庭科室の使い方のルールを知る。 ・ミシンやアイロン等の基本的な使い方を確認する。 ・生地を選ぶなど作品に個性を引き出す。	・ICT機器を活用して、活動の見通しがもてるようにする。 ・工程を細分化し、1つ1つ確認しながら進める。	
	<被服学習> 生活に役立つ物を作ろう	6	8	・エプロン、三角巾、巾着袋の製作	・製作した物は調理実習で使うことを知り、目的をもって取り組む。 ・製作の楽しさを知る。 ・ミシンやアイロン等の基本的な使い方を確認する。	・完成品の見本を用意し、目的をもって主体的に取り組めるようにする。 ・安全上、注意する観点を伝える。	
	<被服学習> 生活に役立つ物を作ろう	7	7	・エプロン、三角巾、巾着袋の製作	・ミシン縫いを安全かつ丁寧に行い仕上げる達成感を味わう。 ・印どおりに縫う方法を知る。	・手本を示し、機械の操作方法やガイドを覚えられるように繰り返し作業を行う。 ・ガイドなどを用意し、まっすぐに縫える環境を作る。	
2 学期	<食育> 健康な体をつくろう	9	9	・バランスの良い食事	・栄養バランスを考えた食生活を過ごす意識をもてるようにする。	・ICT機器を活用し、栄養バランスについてのイメージをもてるようにする。	
	<調理実習> 手洗いの基本 調理室の使い方 簡単な調理	10	10	・正しい手洗い ・調理室の使い方 ・簡単な調理	・正しい手洗い方法を知る。 ・調理室の使い方や道具の名前を知る。 ・道具の安全な使い方を知る。	・ICT機器を活用し、動画で正しい手洗い方法が分かるようにする。 ・教員が手本を示し、一緒に活動することで定着を図る。	
	<調理実習> 簡単な調理をしよう	11	6	・調理実習	・手順を理解して取り組む。 ・道具を安全に使って調理を進める。	・視覚教材を提示し、調理器具名や材料、手順が分かるようにする。 ・オープントースターやレンジ等の安全な扱いをできるようにする。	
	<調理実習> 朝食を作ろう	12	4	・調理実習	・手順を理解して取り組む。 ・道具を安全に使って調理を進める。	・視覚教材を提示し、調理器具名や材料、手順が分かるようにする。 ・繰り返しの実践の中で、安全にできる力をつけていく。	
3 学期	<家庭生活> かばんやロッカーの整理 衣服の管理	1	6	・自分の衣服の整理、管理 文化祭衣装の整理、収納	・衣服のたたみ方、収納の仕方を知り、家庭生活に生かす。	・手本を示し、体験的に学習できるようにする。	
	<消費者教育>	2	8	・お金の大切さ	・物の選び方、買い方を考えて適切に購入する能力を身に付ける。	・金銭の使い方や管理方法について理解が深まるようにする。 ・ワークシートを工夫し、学習内容をまとめることができるようにする。	
	<家庭生活> 洗濯、衣服の管理	3	4	・洗剤の働き ・洗濯機の使い方 ・アイロンのかけかた	・洗濯の仕方を覚えて、家庭の手伝いに意識がむけられるようにする。 ・衣服のたたみ方を知り、日常生活に生かしていく。	・洗濯機の扱い方や干し方を具体的に体験的に学習できるようにしていく。 ・手本を示し、繰り返し服をたたむことで体験的に学習できるようにしていく。	

令和6年度 東京都立足立特別支援学校 年間指導計画

学部	高等部 普通科	学年	1年	学習グループ	重度重複(3人)	教科等名	家庭
年間授業時数	66	使用教室	家庭科室	調理室		使用教科書	
曜日・校時 担当教員	金曜日 2時間目 (9:40~10:30)	MT	齊藤 彩音	ST	石井 紗季 池田 尚央	出口 司真子 金井 亮	
	金曜日 3時間目 (10:35~11:25)	MT	齊藤 彩音	ST	石井 紗季 池田 尚央	出口 司真子 金井 亮	
ねらい	(1) 明るく豊かな家庭生活を送るために必要なことを知る。						
	(2) 家庭生活で使用する道具や器具の正しい使い方がわかり、安全に気を付けて実習をする。						
	(3) 実習を通して、家庭で自分でできることに結びつけていく。						
学期	単元名	月	時数	主な学習内容	ねらい	手だて	
1 学期	オリエンテーション	4	4	・年間の学習計画 ・家庭科室の使い方	・家庭科の学習内容を知る。 ・家庭科室の使い方のルールを知る。	・ICT機器を活用して、学習の見通しがもてるようにする。 ・視覚教材を使用して調理器具や道具の準備・片づけ等のルールを知る。	
	<被服学習> 生活に役立つ物を作ろう	5	4	・製作に必要な器具や道具の使い方	・手元を見て作業ができる。 ・道具の安全な使い方を知り、安全に取り扱う。	・見本を提示し、イメージがもてるようにする。 ・道具に印等を付け、触って良い場所等をわかりやすく示す。 ・教員と一緒に作業を行い、扱い方を確認する。	
	<被服学習> 生活に役立つ物を作ろう	6	8	・エプロン、三角巾の製作	・製作する物を知り、期待感をもって取り組む。 ・手元を見て作業ができる。 ・道具を安全に取り扱う。 ・様々な素材を使って、好きな柄を表現する。	・完成品を提示し、作る物が分かるようにする。 ・アイロン等の器具や道具に興味をもてるように、教員と一緒にやる。	
	<被服学習> 生活に役立つ物を作ろう	7	4	・エプロン、三角巾の製作	・製作する物を知り、期待感をもって取り組む。 ・手元を見て作業ができる。 ・道具を安全に取り扱う。 ・様々な素材を使って、好きな柄を表現する。	・教員と一緒に繰り返し操作を行うことで簡単な操作の仕方を知る。 ・アイロン等の器具や道具に興味をもてるように、教員と一緒にやる。	
2 学期	<食育> ・食べ物の名前	9	8	・様々な食べ物の名前	・野菜や果物、様々な食べ物の名前やどんな料理に使われているかを知る。	・ICT機器を活用し、クイズ形式で答えることができるようにする。 ・マッチング教材を活用し、食べ物の名前が一致できるようにする。	
	<調理実習> ・手洗いの基本 ・簡単な調理をしよう	10	6	・正しい手の洗い方 ・調理実習	・調理室の使い方や道具、正しい手洗いの方法を知る。 ・材料に触れる体験をする。	・作る物や作り方、材料が分かるように、視覚教材を提示する。 ・「混ぜる」「揉む」「振る」といった動作を教員と一緒にやる。	
	<調理実習> ・簡単な調理をしよう	11	8	・調理実習	・手元を見て調理をする。 ・材料に触れる体験をする。 ・道具を使って、安全に調理をする。	・ICT機器や視覚教材を提示し、調理の見通しがもてるようにする。 ・調理中は、手元を見る習慣がつくように必要に応じて注意を促す。	
	<調理実習> ・朝食を作ろう	12	4	・調理実習	・手元を見て調理をする。 ・材料に触れる体験をする。 ・道具を使って、安全に調理をする。	作る物や作りかたがわかるように、写真やイラストを用意する。調理中は、手元を見る習慣がつくように必要に応じて注意を促す。テーブルナイフ等で簡単に安全に調理できる具材を用意する。	
3 学期	<家庭生活> ・リサイクル製品の製作	1	8	・ハンディモップ等の製作	・生活で使っている身近な物を生かして製作する。 ・手指の巧緻性を高める。	・手本を示し、体験的に学習を積み重ねる。 ・繰り返し取り組み、定着を図る。	
	<家庭生活> ・リサイクル製品の製作	2	8	・ハンディモップ等の製作	・生活で使っている身近な物を生かして製作する。 ・手指の巧緻性を高める。	・手本を示し、体験的に学習を積み重ねる。 ・繰り返し取り組み、定着を図る。	
	<家庭生活> ・教室やロッカーの清掃活動と整理整頓 ・洗濯をしよう	3	4	・身近な空間の整理整頓 ・洗濯学習	・自分の戸棚などを片付ける意識を持つ。 ・洗濯機の操作や動きに興味をもつ。 ・タオルを干し、たたんでしまう方法を知る。	・洗濯機の扱い方や干し方、たたみ方を体験的に学習できるようにする。 ・手本を示し、繰り返し学習できるようにしていく。	